

北九州市立響灘緑地 / GREEN PARK

シマオイワラビー



オオカンガルー



お母さんの袋から顔を出す赤ちゃんにも会えるかも♪

ケナガワラルー



～生きものとのふれあい体験～

カンガルー広場

ひびき動物ワールド

全国最大級! 約350頭のカンガルーが暮らす広場。
まるで野生のようなカンガルーたちの群れ。
そんなカンガルーたちとふれあい、
そのたくましさ、かわいさ、そして不思議さを
間近で感じよう!

↑オオカンガルーの親子

カンガルー広場のイベント

各イベントの詳細はこちら→



フサオネズミカンガルー



要予約

まるわかりツアー

料金 300円/人 ※1歳以下は無料
飼育員によるガイド付きで
えさやりやふれあいが体験できる
カンガルーの“まるわかりツアー”です♪

飼育員による餌やりタイム!

カンガルーたちが食事をする様子を
間近で観察(無料)できます!

えさの時間

- 9:00 頃
- 15:00 頃

ふれあい時間

- 11:00 ~ 12:00
- 13:00 ~ 15:00

オオカンガルーと

ふれあい(無料)ができます!



ご利用案内

営業時間

9:00 ~ 17:00

※動物の展示は、季節や天候によって変動があります。
※動物イベントは、動物の健康状態により内容、時間等を変更する場合があります。予めご了承ください。

区分	料金	回数券(4枚つり)	備考
一般	300円	1,000円	回数券は、 熱帯生態園入場料の 共通回数券としても 使用できます。
小・中学生	150円	500円	
7割減対象者	90円	300円	
10割減対象者	無料	—	

【7割減対象者】
北九州市、福岡市、下関市、熊本市、鹿児島市の市民で、公的機関が発行した65歳以上であることを証明できる公的な証明書(住所、氏名、年齢等が確認できるもの。運転免許証、健康保険証等)の原本を提示した方。

【10割減対象者】
北九州市内在住の方で身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の原本を提示した方。

お問合せ

TEL 093-741-2700 (カンガルー広場 / お問合せ時間 9:00 ~ 17:00)

カンガルー広場マップ

ひびき動物ワールド

豆知識

オオカンガルーやシマオイワラビー、ケナガワラビーは、「薄明薄暮性」で明け方や夕暮れに活動し、昼間は休息します。曇りの日は活発な日もあり、異なる姿が見られるかも。食べ物は草や木の皮です。フサオネズミカンガルーは夜行性です。藁などをしっぽで器用に集めてドーム状の巣をつくります。食べ物は種や菌類です。



↑フサオネズミカンガルーの巣

【学名】 *Bettongia penicillata*
 【体長】 30 cm 程度
 【体重】 1 kg 程度
 【寿命】 10 年程度 (飼育下)
 【レッドリスト】 CR [絶滅寸前]



フサオネズミカンガルー

見た目はネズミですが、カンガルーの仲間です。種や菌類を食べ、その排泄物が森を豊かにしています。



ケナガワラビー

【学名】 *Macropus robustus*
 【体長】 オス 130 cm 程度
 メス 75 cm 程度
 【体重】 オス 30 kg 程度
 メス 20 kg 程度
 【寿命】 15 年程度 (飼育下)
 【レッドリスト】 LC [軽度懸念]

ワラビーより大きく、カンガルーより小さいのがワラビーです。草原から岩場まで広い範囲に生息しています。

シマオイワラビー



【学名】 *Petrogale xanthopus celeris*
 【体長】 50 cm 程度
 【体重】 6 kg 程度
 【寿命】 10 年程度 (飼育下)
 【レッドリスト】 NT [準絶滅危惧]

縞尾岩ワラビーの名の通り、縞模様の尻尾が特徴で、岩場に暮っています。ジャンプ力は驚異的で、垂直飛びで、なんと2m!



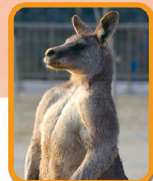
凡例

- 受付
 - 休憩場所
 - トイレ
- ※カンガルー広場内にトイレはありません。
 ※カンガルー広場内は飲食禁止です。



オオカンガルー

【学名】 *Macropus giganteus*
 【体長】 オス 150 cm 程度
 メス 110 cm 程度
 【体重】 オス 60 kg 程度
 メス 30 kg 程度
 【寿命】 15 年程度 (飼育下)
 【レッドリスト】 LC [軽度懸念]



↑オオカンガルーのオス

袋はお腹のあたりにあり、メスにしかありません。オスは筋骨隆々で、力比べのための闘争は迫力があります。

カンガルー広場では、4種類の有袋類を飼育しています。

(2025年4月時点)

当園では、オーストラリアに生息するカンガルーの仲間4種を飼育しています。哺乳類の進化過程で分かれた有袋類は、主にオーストラリアや南米に生息しており、コアラやカンガルーの仲間など約300種がいます。最大の特徴は育児嚢(袋)で子を育てること。未熟な状態で生まれた赤ちゃんは母親の袋の中で成長します。

